

FUJITSU Notebook LIFEBOOK

LIFEBOOK U7510/D

LIFEBOOK U7410/D

LIFEBOOK U7310/D

BIOS セットアップメニュー一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、
アメリカ合衆国および / または他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.3)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
起動 (→P.8)	本パソコンの起動時の動作について設定します。
終了 (→P.8)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
システム	
システム時刻	
システム日付	
言語 (Language)	
ポイントティングデバイスサポート	
詳細	
CPU設定	マルチコア Intel(R) Speed Shiftテクノロジー
各種設定	LANによるウェイクアップ USBによるウェイクアップ ^{注1} 自動Save To Disk 音量設定

メニュー

メニュー	設定項目
	ハードウェア省電力機能
	ハードウェア省電力機能： アイドル状態におけるCPU省電力 (AC) ハードウェア省電力機能： アイドル状態におけるCPU省電力 (バッテリ)
	USB充電設定：
	パソコン電源オフ時の動作
	USB充電設定：
	パソコン起動中の動作
	USB Type-C充電設定：
	パソコン電源オフ時の動作
	FANコントロール
	USB Type-CポートリピリケーターのLANによるウェイクアップ
Intel(R) Management Engine設定	Intel(R) AMT Fast Call for Help ^{注2} SOLコンソールタイプ ^{注2}
イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	
	ユーザー用パスワード設定
	ハードディスク ドライブn:ユーザー用パスワード設定
終了	
	変更を保存して終了する
	変更を保存せずに終了する
	変更を保存する
	変更を保存して電源を切る

注1：Secured-core PCモデルは、本項目は表示されません。

注2：「Intel(R) AMT」が「使用する」設定時

情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
EC版数	
MCU版数	・ USB Type-Cポートリブリケータ接続時表示 ・ 非接続時は「接続情報がありません」と表示
CPUタイプ	
全メモリ容量	
メモリスロット1	
メモリスロット2	
MACアドレス	
バススルーマACアドレス	
UUID	
パネルID	

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 01/01/2000～12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	
ポインティングデバイスサポート □使用しない ■使用する	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
高速起動 □使用しない ■使用する	
ネットワーク起動 □使用しない ■使用する	
強制ネットワーク起動 ■使用しない □使用する	
ネットワーク起動プロトコル □IPv4 □IPv6 ■IPv4 then IPv6 □IPv6 then IPv4	
ドライブ構成	
ドライブ1 □使用しない ■使用する	
ドライブ3 □使用しない ■使用する	
キーボード設定	
起動時のNumlock設定 □オン ■オフ □オン (Fnキー)	標準キーボード搭載機種のみ表示
起動時のNumlock設定 ■オン □オフ	テンキー付キーボード搭載機種の場合
その他の内蔵デバイス設定	
シリアルATAコントローラー □使用しない ■使用する	
Audioコントローラー □使用しない ■使用する	
スピーカー □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「Audioコントローラー」が「使用する」
マイク □使用しない ■使用する	
内蔵LANデバイス □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
無線LAN／Bluetooth(R) □使用しない ■使用する □無線LANのみ	
指紋センサー □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
タッチパネル □使用しない ■使用する	タッチパネル搭載機種のみ表示
手のひら静脈センサー □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
WWANデバイス □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
内蔵カメラ □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
SDスロット □使用しない ■使用する	
スマートカード □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
Thunderbolt(TM) デバイス □使用しない ■使用する	
Thunderbolt(TM) ポートサポート □使用しない ■使用する	<ul style="list-style-type: none"> 下記の項目が次のように設定されているときに表示 <ul style="list-style-type: none"> 「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」 本設定を「使用する」にした場合、USB-TypeC コネクタにデバイスを接続したままパソコンを再起動すると、デバイスが認識されないことがある。 その場合は、一度デバイスを取り外して接続し直す。
セキュリティレベル ■No Security □User Authorization □Secure Connect □Display Port only □USB Docking only	下記の項目が次のように設定されているときに表示 <ul style="list-style-type: none"> 「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」
強制電源オン ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに表示 <ul style="list-style-type: none"> 「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」
液晶内蔵型プライバシー フィルター □使用しない ■使用する □強制有効	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
CPU設定	
マルチコア □使用しない ■使用する	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に表示
Intel(R) Speed Shift テクノロジー □使用しない ■使用する	
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
Intel(R) VT-d □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> 「Virtualization Technology」が「使用する」
Intel(R) TXT □使用しない □使用する	Secured-core PCモデルの初期値は「使用する」、 Secured-core PC非対応モデルの初期値は「使用しない」 <ul style="list-style-type: none"> 対応CPU搭載時に表示 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> 「Virtualization Technology」が「使用する」 「Intel(R) VT-d」が「使用する」 「セキュリティチップ」が「使用する」
Intel(R) SGX □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	
USB設定	
レガシー USBサポート □使用しない ■使用する	
SCSIサブクラスサポート □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> 「レガシー USBサポート」が「使用する」
※注1	
USBポート □使用しない ■使用する	
右側面 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに表示 <ul style="list-style-type: none"> 「USBポート」が「使用する」
左側面（手前） □使用しない ■使用する	<ul style="list-style-type: none"> Thunderbolt接続のUSBポートは、「Thunderbolt(TM) デバイス」と表示され選択不可
左側面（奥） □使用しない ■使用する	
ポートリプリケータ □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
XHCIコントローラー設定 ■標準モード □互換モード	
各種設定	
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	「使用する」設定時は、消費電力が増加するためACアダプタ使用推奨 ※注2
バッテリ運用時 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「LANによるウェイクアップ」が「使用する」
LANによるレジューム □AC接続時のみ ■常に有効	
MACアドレスパススルー ■使用しない □使用する	
USBによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	Secured-core PCモデルは、本項目は表示されません。
自動Save To Disk □オフ ■オン	
音量設定 □オフ □小 ■中 □大	
ハードウェア省電力機能 □使用しない ■使用する	
アイドル状態におけるCPU省電力（AC） ■省エネルギー □低電力 □標準	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ハードウェア省電力機能」が「使用する」
アイドル状態におけるCPU省電力（バッテリ） ■長時間稼動 □低電力 □標準	
USB充電設定	
パソコン電源オフ時の動作 ■充電しない □充電する（AC/バッテリ） □充電する（ACのみ）	
パソコン起動中の動作 □通常充電 ■急速充電	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB Type-C充電設定 パソコン電源オフ時の動作 □充電しない ■充電する	
FANコントロール ■通常 □サイレント	サイレントモードでは、CPUパフォーマンスを制限し、FANの回転数を抑制する
USB Type-CポートリピケーターのLANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	USB Type-Cポートリピケーター接続時に表示
Intel(R) Management Engine設定	
ME版数	
Intel(R) AMT ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> 本項目および配下の項目は、インテル vPro® テクノロジー対応のCPUおよび無線LAN、TPM（セキュリティチップ）搭載時に表示 「Intel(R) ME設定のクリア」実行後は、「使用しない」に設定される
Intel(R) MEセットアップ >Enter	<ul style="list-style-type: none"> 再起動後にME設定メニューに入る 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Intel(R) AMT」が「使用する」
USBプロビジョニング ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Intel(R) AMT」が「使用する」
Intel(R) AMT Fast Call for Help >Enter	<ul style="list-style-type: none"> 再起動後に確認メッセージを表示 管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Intel(R) AMT」が「使用する」
Intel(R) ME設定のクリア >Enter	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Intel(R) AMT」が「使用する」
SOLコンソールタイプ □PC-ANSI □VT-100+ ■VT-UTF8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Intel(R) AMT」が「使用する」

選択肢 初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログ <input type="checkbox"/> 保存しない <input checked="" type="checkbox"/> 保存する	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログのマーク > Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする

注1：接続されているデバイスによっては、「使用する」に設定すると本パソコンが起動しなくなる場合があります。その場合は、デバイスを取り外して再起動してください。

注2：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「Wake up on LANを有効にする」をご覧ください。

セキュリティメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 > Enter	「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 0～32	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
起動時のパスワード <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 最初のみ <input type="checkbox"/> 毎回	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
自動ウェイクアップ時 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・ 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」
取外し可能なディスクからの起動制限 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
システムファームウェア更新機能 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用する（制限付き）	※注1
デバイスファームウェア更新機能 <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用する（制限付き）	※注2
起動メニュー <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ1	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ドライブ3	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □ 使用しない ■ 使用する	設定にかかわらず再起動時は要求なし
所有者情報	
所有者情報	
所有者情報設定 > Enter	
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップデバイス TPM 2.0	
セキュリティチップ □ 使用しない ■ 使用する	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア > Enter	クリアは再起動後に実行

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
セキュアブート設定	
セキュアブート	設定状況を表示 ※注3
署名情報の保護	設定状況を表示
署名情報の状態	設定状況を表示
セキュアブート機能 □ 使用しない ■ 使用する	
署名情報のカスタマイズ > Enter	
署名情報の初期化 > Enter	
3rd-party UEFI CAの削除 > Enter	
DBの管理	
署名の登録	
署名の削除	
DB署名リスト	
DBXの管理	
署名の登録	
署名の削除	
DBX署名リスト	

注1：「使用する（制限付き）」に設定したときは、Windows UpdateによるBIOS更新機能は利用できません。

注2：「使用する（制限付き）」に設定したときは、Windows UpdateによるIntel® Management Engineなどの本体内蔵ファームウェアの更新機能は利用できません。

注3：Windows 10（UEFIモード）以外のOSから起動すると、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました。**アクセス拒否**」などのメッセージが表示されることがあります。

また、起動メニューから起動デバイスを選択したときに、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり起動メニューが再表示されることがあります。

これらの現象が起きた場合は、「セキュアブート機能」を「使用しない」に設定してからOSを起動してください。

起動メニュー

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Windows Boot Manager	
Drive1 HDD	
Drive3 NVMe	
NETWORK	
USB HDD	
USB CD/DVD	
Thunderbolt HDD	

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	※注1
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・システム時刻 ・システム日付 ・言語設定 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・所有者情報設定 ・セキュリティチップのクリア ・セキュアブート機能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。